

平成30年度 国内チーズ工房における製造者長期研修事業 実施要領

1 目的

環太平洋パートナーシップ（TPP（TPP11を含む。））及び日EU経済連携協定の発効を見据え、国産チーズの競争力を高めるとともに、その需要を確保し、我が国の酪農・乳業関係者が将来にわたって安定的に国産チーズの生産に取り組めるようにするため、チーズ工房等のチーズ製造者における長期研修の実施を支援し、国内のチーズ工房における製造技術の向上に資する。

2 内容

国内のチーズ製造者（今後予定しているものも含む。学生は除く。）が、1か月以上の長期研修を行った場合の研修費について助成する。

3 研修の条件

1) 受入工房側

日本国内で一定程度の高品質なチーズづくりが評価されている工房で、研修生を受け入れた際に、実質的な指導体制が整っていることが担保される工房。

2) 研修者側

日本国内でチーズの製造を行っている、もしくは今後製造を計画しているチーズ工房の製造技術者。

4 支援の内容

1) 受入工房側

- ・工房への謝金：1日当たり7,900円

2) 研修者側

- ・宿泊費：1泊当たり最大5,000円（ただし、町内の農業研修施設やお試し移住用体験住宅等を活用し、費用低減に努めること）
- ・旅費：居住地から研修先工房への往復の旅費。（別途定める旅費規程に準ずる）

5 事務局

本事業の事務局を、株式会社FOOD VOICE内に置く。

6 受入工房への依頼及び研修希望者の募集方法について

研修希望者は、自らの研修内容を踏まえた研修候補先を調整するか、研修希望の内容を事務局に対し提出する。

事務局は、研修希望者の希望内容を踏まえ、過去の「オールジャパンナチュラルチーズコンテスト」「ジャパンチーズアワード」などの受賞歴のある工房や、長期研修生の受け入れ実績がある工房に対して、本事業による受け入れが可能か打診を行い、調整を行う。

7 事業実施にかかる事務手続き

1) 参加申し込み

研修生は、様式第1号の参加申込書を、研修開始予定日の1か月前までに、事務局に提出する。

事務局は、研修内容を精査し、実施の可否を参加希望者に通知する。

2) 研修日報の作成

研修生は、様式第2号の研修日報を作成しなければならない。

受け入れ工房は、上記研修日報の内容を確認し、内容に相違がなければ確認印を押印する。

3) 研修終了にかかる実績報告及び交付申請

研修生は、研修終了後14日以内に、様式第3号の実績報告書及び交通費等交付申請書を事務局に提出する。

受け入れ工房は、研修受け入れ終了後14日以内に、様式第4号の受入報告書兼謝金等交付申請書を事務局に提出する。

4) 助成金の支払い

事務局は、上記の実績報告の提出があった後、研修内容を精査し、適当と認められる場合、研修生及び受け入れ工房に対し、助成対象経費を支払う。

8 事務局の支援

事務局は、本研修事業がより成果があがるものとするため、実施権周知における状況確認や、研修希望者と工房間の調整を行う。


9 研修実施に向けたスケジュールについて


10～2月：研修生受け入れの開始

3月：実績報告

国内チーズ工房における製造者長期研修事業事務局
株式会社 FOOD VOICE 内（担当：今野）

問い合わせ先

 (03) 5875-8023

 project_b@food-voice.com

様式第1号

国産チーズ競争力強化支援対策事業
チーズ工房国内長期研修事業参加申込書

住 所 _____
Tel _____
氏 名 _____

平成30年度標記事業について、国内チーズ工房における製造者長期研修事業実施要領7の1)に基づき、参加を申し込みます。

1 研修希望工房

1) 調整済

工房名：

住 所：

代表者：

2) 具体的な研修先は決まっていない

2 主に習得したいチーズの種類

--

3 研修希望時期

月 日 から 月 日まで

4 自身の経歴

チーズ製造の実績 年 か月

チーズ製造した種類 _____

※ 履歴書を添付のこと（チーズ研修の履歴について詳細に記載のこと）

5 研修中の宿泊先

1) 決定済 _____

2) 調整中

様式第2号

国産チーズ競争力強化支援対策事業
チーズ工房国内長期研修事業研修日報

研修生氏名 _____

研修工房名 _____

月日	研修実施 時間	研修内容			指導者 確認印
		製造チーズ のタイプ	研修工程	研修内容	

様式第3号

国産チーズ競争力強化支援対策事業
チーズ工房国内長期研修事業 実績報告書

研修生氏名 _____

1 研修先工房名 _____ (_____)

2 研修期間 (実績)
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (実質 日)

3 研修成果

1) 主に研修を受けたチーズの種類

--

2) 主に実施した研修内容

--

3) 研修で習得した情報、技術

--

4) 研修日報 様式2号のとおり

4 研修後の予定について

- 1) 現在開設している工房において製造を続ける
- 2) 今後、新たに工房を設置する。
- 3) その他

様式第4号

国産チーズ競争力強化支援対策事業
チーズ工房国内長期研修事業 受入報告書及び謝金等交付申請書

住 所 _____
Tel _____
受入工房名 _____
代表者氏名 _____

1 研修実施者氏名 _____

2 研修期間（実績）
平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日（実質 日）

3 研修成果

1) 主に研修を実施したチーズの種類

--

2) 主に研修を実施した内容

--

3) 研修生の態度や受講姿勢についての感想

--

4 謝金実績額

研修期間	研修実績日数 (a)	謝金単価 (b)	謝金支払金額（総 額）(c)=a×b	うち 消費税相当額
		7,900円		

5 支払先口座情報

金融機関名		口座種類・番号	
支店名		口座名義人	